

## 第24回 定例研究・研修会 プログラム

(1日目) 11月3日(金) 13:00~17:30

時 間	内容及び講師氏名 (敬称略)
12:15	受付開始
13:00 ~ 13:20	<p><b>【開会挨拶】</b> NPO法人 全国就業支援ネットワーク 代表理事 藤尾 健二</p> <p><b>【来賓挨拶】</b> 愛知労働局 職業安定部 部長 出口 義将 愛知県 労働局 局長 大寄 みどり 名古屋市 健康福祉局 局長 平松 修 (代理) 健康福祉局 障害福祉部 部長 田嶋 仁美</p>
13:20 ~ 14:30	<p><b>【基調講演】 令和4年改正に込めた思い</b> ~共生社会の実現に向けた雇用の質の向上~ 福岡労働局 局長 元 厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課 課長 小野寺 徳子</p> <p>令和2(2020)年に開始した「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会」における議論や、その後の労働政策審議会における議論を踏まえ、法改正が行われました。障害者雇用促進法の改正を中心に、真の共生社会の実現に向け、政策立案に携わるなかで法改正に込めた思いをお話します。</p>
	休憩 (10分)
14:40 ~ 16:00	<p><b>【シンポジウムI】 雇用の質と支援の質を考える</b> シンポジスト 基調講演者 小野寺 徳子 トヨタグループ株式会社 代表取締役社長 有村 秀一 有限会社進工舎 代表取締役 田中 誠</p> <p>コーディネーター 尾張東部障がい者就業・生活支援センター アクト 松尾 俊明</p> <p>雇用率引き上げに伴い、雇用される障害者の急増が見込まれるなか、真に求められる社会参加や就労自立をより発展させていくために、我々支援者はどうしたらよいのかを、愛知県内で特色のある障害者雇用を進めてこられた企業の経営者をお迎えして、一緒に考えていきたいと思っております。</p>
	休憩 (20分)

**【分科会】**

**1) 中小企業での戦力化事例について**

A T Uホールディングス株式会社 代表取締役 岩崎 龍太郎

警備の中核業務を障害者が担う日本唯一の会社です。障害者雇用が難しい業種でありながら、社員のうち4割が障害者です。しかも正社員雇用で残業も少ない！『日本でいちばん大切にしたい会社大賞』を受賞した、驚愕の対話式経営と一緒に学びましょう。

**2) 静岡県富士市におけるユニバーサル就労について**

株式会社東海道シグマ 教育事業部 自立就労支援チーム  
統括責任者 三好 泰枝 ・ 向笠 弘之

16:20

～

17:30

富士市は「ユニバーサル就労の推進に関する条例」を制定し、働きづらさを抱えた方が仕事に就き、「生きがい、働きがい」を感じられる社会をつくる取り組みを行っています。分科会では企業と就労希望者双方の状況に合ったオーダーメイド支援についてお話しします。

**3) 知的障害受刑者処遇・支援モデル事業について**

社会福祉法人南高愛隣会 長崎県地域生活定着支援センター  
所長 大坪 幸太郎

長崎県地域生活定着支援センターでは、罪を犯した障がい者、高齢者の支援を行っています。令和4年度から事務局として参画している、長崎刑務所「知的障害受刑者処遇・支援モデル事業」は、『就労支援』を一つの柱としていますので、就労支援を中心にお話ししたいと思います。

(2日目) 11月4日(土) 9:30~15:15

時 間	内容及び講師氏名 (敬称略)
9:30 ~ 10:30	<p><b>【ポスター発表】</b>            地元企画 4 題            全国公募 4 題</p>
10:40 ~ 12:00	<p><b>【シンポジウムⅡ】 どうするなかぼつ？</b>  <b>雇用率制度を問う、問われる障がい者雇用の質</b>  <b>～雇用率ビジネスから考える～</b></p> <p>シンポジスト            NPO法人 わっぱの会 代表理事 斎藤 縣三            名古屋市 健康福祉局 局長 平松 修            共同通信社 特別報道室 編集委員 市川 亨</p> <p>コーディネーター            障がい者生活支援センターJHNまある 相談支援専門員 田代 波広</p> <p>雇用率ビジネスを利用している企業は今や 800 社、働く障がい者は約 5,000 人と報道されています。加速するこの実態を批判するばかりではなく、障がいのある人もない人も共に働く社会を実現するために、我々はどう向き合うべきなのか、今後どのように雇用の質、支援の質を高めれば良いのか、再考できるシンポジウムとしたいと考えています。</p>
	<p>昼食休憩 (60分)</p>
13:00 ~ 15:00	<p><b>【シンポジウムⅢ】 施策の流れとわれわれの立ち位置</b></p> <p><b>【施策の流れ】</b>            厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 課長 伊藤 洋平            厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課 課長 西澤 栄晃</p> <p><b>【施策から今後のわれわれの立ち位置を探る】</b>            全国就業支援ネットワーク 代表理事 藤尾 健二            能力開発施設部会 部会長 酒井 京子            障害者就業・生活支援センター部会 部会長 野路 和之            就労移行部会 部会長 金塚 たかし</p> <p>障害者雇用促進法の改正に伴う継続的な障害者雇用率の引き上げ、令和6年度に予定されている障害福祉サービスにおける報酬改定、更には令和7年10月にスタートを切るとされている新たなサービスなど、障害者雇用および障害者の就労支援は大きな転機を迎えています。雇用・福祉の両課長をお迎えし、当ネットワークの部会長を交えて今後の動向について共有・確認し、明日からの支援に活かせるようなシンポジウムにしたいと思います。</p>
15:05	<p><b>【閉会挨拶】 (実行委員長)</b>            なごや障害者就業・生活支援センター センター長 酒井 英夫</p>